

今週も消化液実験



石割京大農園
Ishiwari Kyoto-univ. Farm

今週も消化液の話題。南丹市の八木バイオエコロジーセンターは乳牛糞，オカラなどを嫌気発酵させてメタンガスを発生させ，これを燃やして発電する施設です (<http://himuronosato.jp/bio.html>)。メタンガスが回収された後の液体は消化液と呼ばれますが，原材料に含まれていた肥料成分がそっくり残っているため，水稻の肥料として利用が試みられています。写真は修学院離宮圃場で，学生



さんがホースを振り回しながら黒い消化液を散布している様子。これまでの試行で消化液は粘稠で水と混ざりにくく，アンモニアが揮散しやすいので，肥効にムラが出やすいこと，がわかってきました。離宮水田は今日から代かき開始，今週末が田植え。京大石割農園では玉葱収穫中。馬鈴薯もそろそろです。

離宮の棚田

